

# 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために

# ～学習ガイドを活用して児童生徒と単元の見通しを共有しよう～

前号の『中丹のまなびX』では、「評価から授業をつくる～何ができるようになるかを考えることから始めよう～」というテーマで「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点や授業づくりについて、紹介しました。今回は、児童生徒と単元の見通しを共有することの必要性について提示します。

## ○ 評価までの見通しが持っていますか？

学習指導要領では、各教科等の目標及び内容が、育成を目指す資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）に沿って再整理され、各教科等でのような資質・能力の育成を目指すのが明確にされました。これにより、**教師が「子どもたちにどのような力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る、いわゆる「指導と評価の一体化」が実現されやすくなる**ことが期待されています。

### 「指導と評価の一体化」の実現のために大切なことは…

**教師** 単元や題材など内容や時間のまとまりをどのように構成するかを考えていること

**児童生徒** 見通しを持って学習を進めていること

そのために

### ① 評価から授業をつくる

※中丹のまなびX「評価から授業をつくる」

### ② 単元のゴールを意識した授業構想を行う

※中丹のまなびX「中丹の授業スタンダード」  
中丹のまなびXI『「主体的・対話的で深い学び」の実現のために」  
～児童生徒と単元の見通しを共有し、単元のゴールを意識した授業構想を！～

### ③ 児童生徒と単元の見通しを共有する

### 学習ガイドの活用

## ○ 単元の見通しが児童生徒と共有できていますか？

～学習ガイドの活用～

「学習ガイド」とは…

単元の目標や流れ、単元での学習の仕方を児童生徒と共有することで、児童生徒が見通しを持って学習を進め、「できた、分かった」を実感することができるシートです。1枚のシートの中に、3つの要素を入れています。

【裏面】

### ◆ 自主学习

自主学习のメニューを示しています。単元の学習を通して、さらに取り組みたいと思う仕掛けを工夫することで、基礎・基本の力を定着させ、活用の力を伸ばすことにつながります。

### ● 学習前と学習後の振り返り

学習前と学習後で学習内容について比較したり、学習後に単元の学びを振り返ったりすることで、分かったことやできるようになったこと、新たな疑問などを実感することができます。

【表面】

### ★ 単元の見通し

学習の見通しが持てるように、単元の目標や単元末の課題、大まかな学習の流れを示します。詳しい流れは中面に示しています。

### ★ 単元の見通し ◆ 家庭学習

毎時間の学習内容とそれに関連した家庭学習を示します。授業と関連した家庭学習を出すことで継続した学びを保障します。また、欠席したときなどにも、どこを学習したかが分かり、次の時間に行う学習内容を知った上で、授業に臨むことができます。

【中面】

学習ガイドもタブレット端末を活用して履歴を残せば、児童生徒の学びの変容を把握して指導に生かしたり、児童生徒が自らの学習改善につなげたりすることができます。

### ● 毎時間の授業の振り返り

本時の目標や授業で一番大切だと思ったことなどをタイトル欄に書き込み、毎時間の振り返りを記入させます。つまづきを把握し、指導に生かすことができます。また、継続して振り返りに取り組ませることで、**粘り強く学習に取り組んでいるか、粘り強く取り組む中で自らの学習を調整しようとしているか**なども見ることができます。

主体的に学習に取り組む態度の評価への活用

参考資料

- 小学校学習指導要領解説 総則編 中学校学習指導要領解説 総則編（平成29年7月）
- 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター「学習評価の在り方ハンドブック 小・中学校編」（令和元年6月）
- 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（小学校、中学校）（令和2年3月）